

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 8 年 7 月		工事概要	耐震性防火貯水槽設置 N=1基	
契約番号	2026000673			防火貯水槽本体 N=1.0式	
路線名	鹿島区			組立工 N=1.0式	
工事等名	耐震性防火貯水槽設置工事（鹿島区山下地区）			止水工・防水工 N=1.0式	
				基礎工 N=1.0式	
			土工 N=1.0式		
工事等場所	南相馬市鹿島区山下字北山下 地内		仮設工 N=1.0式		
			付帯工 N=1.0式		
			交通誘導警備員B N=4人		
総工事費	当初請負		仕様概要	1. 設計図書及び福島県土木工事共通	
	当初設計			仕様書に準じ入念に施工すること	
	変更請負			2. 詳細は監督員の指示による	
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2026000673)		
耐震性防火貯水槽設置工事(鹿島区山下地区)		
種 別	金 額 (円)	備 考
防火貯水槽本体		
組立工		
止水工・防水工		
基礎工		
土工		
仮設工		
給水設備工		
安全施設工		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

耐震性防火貯水槽設置工事(鹿島区山下地区)

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。
※該当工事には ☒ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲：予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☒ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

位置図

耐震性防火貯水槽設置工事(鹿島区山下地区)

施工位置



平成六年二月印刷

新日本航測株式会社調製

鹿島町

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	00 市 町 村 実施設計書 当初 20260000990 0 1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-08.07.01(0) 1 土木工事 20260000990耐震性防火貯水槽設置工事 (鹿島区山下地区)		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 復興係数 (共通仮設費) 復興係数 (現場管理費)	40 09 公園 00 冬期割増なし 01 金銭の保証 00 補正なし 00 必要無し 01 月単位 01 補正あり 1. 3 01 補正あり 1. 1		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計 1
	3	作業日数集計 2
	4	作業日数集計 3
	5	作業日数集計 4
	6	作業日数集計 5

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
施設整備					Y100X005234
防火貯水槽設備工					Y211Y002677
防火貯水槽本体 二次製品					Y3200002678
貯水施設材料費					Y4020
調整データ					#0040 A=1, B=1, C=3
	1.0	調整式			
頂版 (W-S) 5400×3000×250					W0001
	1.0	枚			
側壁1号 5400×3000×1150					W0002
	1.0	個			
側壁2号 5400×3000×1150					W0003
	1.0	個			
側壁3号 5400×3000×1150					W0004
	1.0	個			
側壁4号 5400×3080×1100					W0005
	1.0	個			
底版 4860×2460×250					W0006
	1.0	個			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
集水ピット φ600×H=100	2.0	個			W0007
吸管投入孔 φ600×H=350	2.0	個			W0008
FRP梯子 H=4150	1.0	式			W0009
鉄蓋及び口環 転落防止型 φ600用	2.0	組			W0010
組立工					Y3200002678
組立工（本体）		本			Y4406000029
組立工（本体）	1.0	式			V1000 00 施工 第0 -0001号表
組立工（吸管投入及び集水ピット）	4.0	ヶ所			V2000 00 施工 第0 -0004号表
組立工（鑄鉄蓋）	2.0	ヶ所			V3000 00 施工 第0 -0005号表
止水工・防水工					Y3200002678
止水工・防水工					Y4157
シール工（頂部） 1成分形材 リレタンシーラント	14.4	m			V4000 00 施工 第0 -0007号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シール工（側壁）					V4001 00
	29.0	m			施工 第0 -0008号表
シール工（底部）					V4002 00
	28.8	m			施工 第0 -0009号表
シール工（吸管投入孔）					V4003 00
	5.4	m			施工 第0 -0010号表
シール工（集水ピット）					V4004 00
	2.0	m			施工 第0 -0011号表
防水モルタル工					V5000 00
	0.3	m 3			施工 第0 -0012号表
基礎工					Y3200002678
基礎工					Y4120
基礎碎石 20.0cmを超え22.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40					SPA391 00
	20.6	m2			施工 第0 -0013号表
捨て碎石工					V6000 00
	14.2	m 2			施工 第0 -0014号表
サンドクッション					V7000 00
	12.1	m 2			施工 第0 -0015号表
水中不分離コンクリート					V8000 00
	4.7	m 3			施工 第0 -0016号表
土工					Y3200002678

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工（潜函土工）					Y4120
床掘り 土砂 標準 予掘作業	31.5	m3			SPA161 00 施工 第0 -0017号表
床掘り 土砂 標準 潜函作業	41.9	m3			SPA161 00 施工 第0 -0018号表
床掘り 土砂 小規模 潜函作業	25.2	m3			SPA161 00 施工 第0 -0019号表
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	15.0	m3			SPA181 00 施工 第0 -0020号表
埋戻し 現場制約あり 土砂	2.1	m3			SPA181 00 施工 第0 -0021号表
土砂等運搬 標準 バックホウ	98.6	m3			SPA105 00 施工 第0 -0022号表
整地 残土受け入れ地での処理	98.6	m3			SPA109 00 施工 第0 -0023号表
仮設工					Y3093
仮設工					Y4093
H形鋼設置・撤去	1.0	式			V0009 00 施工 第0 -0024号表
敷鉄板設置・撤去工	1.0	式			V1100 00 施工 第0 -0025号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ運転 作業時排水 排水量 0以上 120未満	4.0	日			S5620 00 施工 第0 -0029号表
発動発電機運転 機-16 ディーゼル 25KVA	4.0	日			SK526 00 施工 第0 -0032号表
ポンプ据付撤去工	1.0	箇所			S5621 00 施工 第0 -0033号表
付帯工					Y2143006254
給水設備工					Y32B3005261
資材費					Y4157
給水管資材費	1.0	式			V9000 00 施工 第0 -0035号表
敷設費					Y4024
敷設工	1.0	式			V9100 00 施工 第0 -0036号表
作業土工		m3			Y440R000047
機械掘削工 (小型バックホウ) クローラ型 山0.08m3 (平0.06m3)	9.0	m3			SG001 00 施工 第0 -0037号表
発生土運搬工 (2t積級、機械積込み) 運搬距離 L=9.6km 小型バックホウ クローラ型 山0.08m3 (平0.06m3)	9.0	m3			SG017 00 施工 第0 -0039号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
整地 残土受入れ地での処理	9.0	m3			SPA109 00 施工 第0 -0023号表
購入土 良質土（ほぐした土量）	2.0	m 3			T8350 00
再生骨材（骨材）クラッシュラン R C - 4 0	7.0	m 3			T8454 00
コンクリート舗装工					Y4220
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚150mm 1層施工	15.2	m2			SPD005 00 施工 第0 -0041号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 パ ック材（クレーン機能付）打設	2.3	m3			SPB401 00 施工 第0 -0042号表
アスファルト舗装工					Y4516
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚150mm 1層施工	32.0	m2			SPD005 00 施工 第0 -0041号表
表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚50mm	32.0	m2			SPD023 00 施工 第0 -0043号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	9.0	m			SPD321 00 施工 第0 -0044号表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	12.3	m2			SPD311 00 施工 第0 -0045号表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込（小規模土工）	0.6	m3			SPA961 00 施工 第0 -0046号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不陸整正 補足材料あり 6mm以上11mm未満	12.3	m2			SPD001 00 施工 第0 -0047号表
表層（車道・路肩部） 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下） 平均仕上り厚50mm	12.3	m2			SPD023 00 施工 第0 -0048号表
調整データ		調整式			#0040 A=1, B=1, C=7
As殻処分	1.6	t			T8498 00
交通安全施設工					Y2017
交通安全施設工					Y3017
防火貯水槽標識設置工					Y4020
道路標識柱・基礎設置工（路側式）（材料含） 路・単式 メッキ十静（白色）φ60.5 S2（施工規模 2基以下）	1.0	基			S7031 00 施工 第0 -0049号表
道路標識板設置工（案内標識・新設）（材料含） カブセルプリズム・カブセルレンズ 2m2未満 時間的制約を受けない	1.0	式			S7022 00 施工 第0 -0050号表
交通誘導員					Y4019
交通誘導警備員B [0.907]	4.0	人			R0900 00
直接工事費					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬費					Z0004
		式			
仮設材運搬費					Y2Y03007336
		式			
仮設材の運搬費 運搬質量 2.894 t 運搬距離（片道）11.9km 搬入	1.0	式			S0070 00 施工 第0 -0051号表
仮設材の運搬費 運搬質量 2.894 t 運搬距離（片道）11.9km 搬出	1.0	式			S0070 00 施工 第0 -0051号表
仮設材等の積込み、取卸し費 積込み取卸し（往復分）	2.894	t			S0072 00 施工 第0 -0052号表
仮設材の運搬費 運搬質量 32.1 t 運搬距離（片道）11.9km	1.0	式			S0070 00 施工 第0 -0053号表
仮設材の運搬費 運搬質量 32.1 t 運搬距離（片道）11.9km	1.0	式			S0070 00 施工 第0 -0053号表
仮設材等の積込み、取卸し費 20枚×1.604t=32.1t	32.1	t			S0072 00 施工 第0 -0054号表
役務費					Z0005
		式			
量水器加入金					Y2Y0T007368
		式			
量水器加入金	1.0	式			W2000
私有管管理負担金					Y2Y0T007368
		式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
私有管管理負担金					W3000
	12.0	m			
技術管理費					Z0006
		式			
水圧試験費					Y2Y0U007370
	1.0	式			工種 第0001号表
現場環境改善費(積上)					Z0010
		式			
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)					T9940 00
	1.0	基			
共通仮設費(率)					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
		式			
工事原価					
一般管理費					
		式			
工事価格					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格	(まるめ)					
消費税等相当額			式			
工事費計						

工 種 明 細 表

頁0-0012

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0013

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立工（本体） V1000	1.0	式			施工 第0 -0001号表 特単単価適用日：08年07月01日
ラフレックレン貫料 油圧伸縮ジャ型 70t吊	2.0	日			K2541
特殊作業員 [0.780]	2.0	人			R0020
とび工 [0.864]	2.0	人			R0270
アンボンドPC鋼棒 C種1号 φ23mm L=4360	56.9	k g			F0001
縦締緊張工	4.0	本			V1010 施工 第0-0002号表
雑材料	4.0	%			#01
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
縦締緊張工 V1010	10.0	本			施工 第0 -0002号表 特単単価適用日：08年07月01日
橋りょう世話役 [0.783]	0.6	人			R0510
橋りょう特殊工 [0.852]	2.2	人			R0520
普通作業員 [0.842]	0.8	人			R0030
定着具 P C (普通) 鋼棒 緊張側 後付用 φ 2 3	30.0	組			TP292
モルタル練 セメント(普通ホ) 25kg袋入	0.1	m3			SPB405 施工 第0-0003号表
雑材料	3.0	%			#01
*** 合 計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工パッケージ内訳表

頁0-0015

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
モルタル練 SPB405 セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 標準単価： 102.720			施工 第0-0003号表 1	m3
機械構成比： 0.00%		労務構成比： 82.04%	材料構成比： 17.96%	市場単価構成比： 0.00%
R0030 普通作業員 [0.842]		54.42%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		27.46%	TPR0010 土木一般世話役	
T0010 セメント 普通ポルトランド(袋物)25kg/袋		12.48%	TPT0016 セメント(高炉B) 25kg袋入	
T8300 コンクリート用骨材 砂(洗)		5.48%	TPT8300 コンクリート用骨材 砂 細目(洗い)	
*** 単位当たり ***				
B=3 C=1 D=1	セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 全ての費用 土木工事標準積算基準 Ⅱ-4-①-8			

施 工 内 訳 表

頁0-0016

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立工（吸管投入及び集水ピット） V2000	1.0	ヶ所			施工 第0 -0004号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.11	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.11	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.22	人			R0030
トラックレン賃料 油圧伸縮ｼﾌﾞ型 4.9t吊	0.11	日			K0005
*** 単位当たり ***	1	ヶ所			

施 工 内 訳 表

頁0-0017

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立工（鉄蓋） V3000	1.0	ヶ所			施工 第0 -0005号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.07	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.07	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.14	人			R0030
モルタル工	0.02	m3			V1110 施工 第0-0006号表
トラックレン賃料 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t吊	0.07	日			K0005
*** 単位当たり ***	1	ヶ所			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
モルタル工 V1110	1.0	m3			施工 第0 -0006号表 特単単価適用日：08年07月01日
普通作業員 [0.842]	1.3	人			R0030
セメント（高炉B） 25kg袋入	0.72	t			T0016
コンクリート用骨材 砂（洗）	0.95	m3			T8300
*** 単位当たり ***	1	m3			

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0018

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シール工（頂部） V4000 1成分形ポリウレタンシーラント	100.0	m			施工 第0 -0007号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.8	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	3.2	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.8	人			R0030
1成分形ポリウレタンシーラント オートンシーラー101Aノンブリード	25.0	k g			F0002
プライマー オートンプライマーOP-2020	0.5	k g			F0004
雑材料	3.0	%			#01
* * * 合 計 * * *	100	m			
* * * 単位当たり * * *	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0019

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シール工（側壁） V4001	100.0	m			施工 第0 -0008号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.8	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	3.2	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.8	人			R0030
1成分形ポリウレタンシーラント オートンシーラー101Aノンブリード	38.8	k g			F0002
プライマー オートンプライマーOP-2020	0.8	k g			F0004
雑材料	3.0	%			#01
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0020

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シール工（底部） V4002	100.0	m			施工 第0 -0009号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.8	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	3.2	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.8	人			R0030
2成分形ポリウレタン系シーリング材 ボンドUPシール#700	100.1	k g			F0003
プライマー シールプライマー#1	2.0	k g			F0005
雑材料	3.0	%			#01
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0021

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シール工（吸管投入孔） V4003	100.0	m			施工 第0 -0010号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.8	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	3.2	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.8	人			R0030
1成分形ポリウレタンシーラント オートンシーラー101Aノンブリード	25.0	k g			F0002
プライマー オートンプライマーOP-2020	0.5	k g			F0004
雑材料	3.0	%			#01
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0022

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シール工（集水ピット） V4004	100.0	m			施工 第0 -0011号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.8	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	3.2	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.8	人			R0030
1成分形ポリウレタンシーラント オートンシーラー101Aノンブリード	40.0	k g			F0002
プライマー オートンプライマーOP-2020	0.8	k g			F0004
雑材料	3.0	%			#01
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0023

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水モルタル工 V5000	1.0	m 3			施工 第0 -0012号表 特単単価適用日：08年07月01日
普通作業員 [0.842]	1.1	人			R0030
セメント 普通ポルトランド（袋物）2 5 kg／袋	0.5	t			T0010
コンクリート用骨材 砂（洗）	1.1	m 3			T8300
防水剤 マノール防水剤	10.6	k g			F0007
* * * 単位当たり * * *	1	m 3			

施工パッケージ内訳表

頁0-0024

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
基礎碎石 SPA391 20.0cmを超え22.5cm以下 標準単価： 1,906.4 機械構成比： 5.05%	再生クラッシャラン R C - 4 0 5.05%	74.17%	施工 第0 -0013号表 1 材料構成比： 20.78%	m2 0.00%
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3) K9203		5.02%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
普通作業員 [0.842] R0030		35.65%	普通作業員 TPR0030	
特殊作業員 [0.780] R0020		15.05%	特殊作業員 TPR0020	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		13.97%	運転手 (特殊) TPR0120	
土木一般世話役 [0.753] R0010		8.99%	土木一般世話役 TPR0010	
再生骨材 (骨材) クラッシャラン R C - 4 0 T8454		16.08%	再生クラッシャラン R C - 4 0 TPT8454	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		4.67%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
* * * 単位当たり * * *				
A=5 C=2 D=1 E=1 20.0cmを超え22.5cm以下 再生クラッシャラン R C - 4 0 全ての費用 土木工事標準積算基準 II - 2 - ② - 2				

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0025

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
捨て砕石工 V6000	100.0	m ²			施工 第0 -0014号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.4	人			R0010
栗石・割栗石 15～5cm	24.0	m ³			T8330
バックホウ〔クローラ型〕 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	0.7	日			K9203
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 内 訳 表

頁0-0026

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
サンドクッション V7000	100.0	m ²			施工 第0 -0015号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.4	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.7	人			R0020
普通作業員 [0.842]	1.9	人			R0030
砂 クッション用材	6.0	m ³			F0008
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	0.7	日			K9203
雑材料	1.0	%			#01
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 内 訳 表

頁0-0027

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水中不分離コンクリート V8000	10.0	m 3			施工 第0 -0016号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.4	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.8	人			R0020
普通作業員 [0.842]	1.2	人			R0030
生コンクリート ⑪-2 3 6 - 1 2 - 2 5 (2 0) - 5 5 %	10.4	m 3			T8760
水中不分離性混和剤 UWB	25.0	k g			F0009
高性能減水剤 NL4000	110.0	L			F0010
雑材料	4.0	%			#01
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当たり ***	1	m 3			

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0028

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 244.12 機械構成比： 22.47% 労務構成比： 53.87% 材料構成比： 23.66% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0017号表 1 m3	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3) K9203		22.47%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		53.87%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		23.66%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=1 標準 C=1 土留なし D=1 障害なし G=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-③-4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0029

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 374.51 機械構成比： 17.89% 労務構成比： 63.27% 材料構成比： 18.84% 市場単価構成比： 0.00%	標準		施工 第0 -0018号表 1 m3	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	K9203	17.89%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
運転手 (特殊) [0.788]	R0120	42.93%	運転手 (特殊) TPR0120	
普通作業員 [0.842]	R0030	20.34%	普通作業員 TPR0030	
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	T0250	18.84%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=1 標準 C=2 自立式 D=2 障害あり G=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-③-4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0030

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 2,247.4 機械構成比：	小規模 18.73%	労務構成比： 74.16%	施工 第0-0019号表 1 材料構成比： 7.11% 市場単価構成比：	m3 0.00%
MA204 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次		18.73%	TPMA204 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次	
R0120 運転手(特殊) [0.788]		40.26%	TPR0120 運転手(特殊)	
R0030 普通作業員 [0.842]		33.90%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		7.11%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=5 上記以外(小規模) E=1 全ての費用 G=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-③-4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0031

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 最大埋戻幅4m以上 標準単価： 1,096.9 機械構成比： 12.31% 労務構成比： 76.19% 材料構成比： 11.50% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0020号表 1 m3	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3) K9203		10.59%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
振動ローラ (ハンドガイド式) 0.5-0.6t K2600		1.65%	振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料 TPK9805	
タンバ及びランマ 60~80kg K2620		0.07%	タンバ賃料 TPK2620	
特殊作業員 [0.780] R0020		28.92%	特殊作業員 TPR0020	
普通作業員 [0.842] R0030		25.93%	普通作業員 TPR0030	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		21.34%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		11.40%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
レギュラーガソリン スタンド T0240		0.10%	ガソリン レギュラー スタンド TPT0240	
*** 単位当たり ***				
A=2 最大埋戻幅4m以上 E=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-12				

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0032

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 現場制約あり 標準単価： 6.096 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%	土砂		施工 第0 -0021号表 1	m3
R0030 普通作業員 [0.842]		100.00%	TPR0030 普通作業員	
*** 単位当たり ***				
A=6 現場制約あり B=1 土砂 C=2 締固めなし E=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-12				

施工パッケージ内訳表

頁0-0033

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価： 1,808.9 機械構成比： 44.67%	バックホフ 44.67%	40.44%	施工 第0-0022号表 1 材料構成比： 14.89%	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.67%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		40.44%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.89%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 標準 B=1 バックホフ C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D=1 DID区間なし E=25 11.5km以下				
F=1 土木工事標準積算基準 II-1-②-13				

頁0-0034

標準單價： 機械構成比： 勞務構成比： 材料構成比： 市場單價構成比：

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0035

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
H形鋼設置・撤去 V0009	1.0	式			施工 第0 -0024号表 特単単価適用日：08年07月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.2	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.2	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.4	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	0.2	日			K0005
H形鋼 400型 (172kg/m) 1～90日	11.6	t・日			K2241
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0036

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0037

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板設置工 S5730 22×1524×6069	100	m2			施工 第0-0026号表
土木一般世話役 [0.753]	0.152	人			R0010
とび工 [0.864]	0.152	人			R0270
普通作業員 [0.842]	0.152	人			R0030
バックホウ運転（クレーン機能付） 機-28 ク-ラ型 2.9t吊 山積0.8m3（平積0.6m3）	0.152	日			SK728 施工 第0-0027号表
諸雑費	1.000	%			#09
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 設置 C=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑩-2					

施 工 内 訳 表

頁0-0038

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0039

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板撤去工 S5730 撤去 22×1524×6069	100	m2			施工 第0-0028号表
土木一般世話役 [0.753]	0.143	人			R0010
とび工 [0.864]	0.143	人			R0270
普通作業員 [0.842]	0.143	人			R0030
バックホウ運転（クレーン機能付） 機-28 ク-ラ型 2.9t吊 山積0.8m3（平積0.6m3）	0.143	日			SK728 施工 第0-0027号表
諸雑費	1.000	%			#09
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 撤去 C=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑩-2					

施 工 内 訳 表

頁0-0040

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ運転 S5620 作業時排水 排水量 0 以上 120未満	1	日			施工 第0-0029号表
特殊作業員 [0.780]	0.140	人			R0020
工事用水中ポンプ運転 機-30 口径200mm 揚程10m	1.000	日			SK690 施工 第0-0030号表
発動発電機運転 機-16 ディーゼル 45KVA	1.000	日			SK526 施工 第0-0031号表
諸雑費	5.000	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 B=5 排水量 0 以上 120未満 D=1 10m E=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑧-4					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
工事用水中ポンプ運転 SK690 機-30 口径200mm 揚程10m	1	日			施工 第0-0030号表
工事用水中ポンプ賃料 口径200mm 揚程10m	1.200	供用日			K0708
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=5 口径200mm 揚程10m B=1.2 賃料数量 C=0 電力消費量 D=					

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0041

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発動発電機運転 SK526 機-16 ディーゼル 45KVA	1	日			施工 第0-0031号表
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	46.000	L			T0250
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動 45KVA	1.200	供用日			K0624
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=13 ディーゼル 45KVA B=46 燃料消費量 C=1.2 賃料数量 D=5 超低騒音 排出ガス対策型(第3次基準値)使用					

発動発電機運転 SK526 機-16 ディーゼル 25KVA	1	日			施工 第0-0032号表
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	22.000	L			T0250
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動 25KVA	1.200	供用日			K0620
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=11 ディーゼル 25KVA B=22 燃料消費量 C=1.2 賃料数量 D=3 排出ガス対策型(第2次基準値) 使用					

施 工 内 訳 表

頁0-0042

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ据付撤去工 S5621	1	箇所			施工 第0-0033号表
土木一般世話役 [0.753]	0.500	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.100	人			R0020
普通作業員 [0.842]	2.000	人			R0030
バックホウ運転（クレーン機能付） 機-28 ク-ラ型 2.9t吊 山積0.8m3（平積0.6m3）	0.500	日			SK728 施工 第0-0034号表
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
B=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑧-4					

施 工 内 訳 表

頁0-0043

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0044

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水管資材費 V9000	1.0	式			施工 第0 -0035号表 特単単価適用日：08年07月01日
ポリエチレン管 φ20 PEP	12.0	m			W0001
塩ビ管 φ30 HI-VP	0.5	m			W0002
塩ビ管 φ20 HI-VP	2.0	m			W0003
φ50 VP	1.0	m			W0004
ポリ継手 φ20 メーター用	3.0	個			W0005
ポリ継手 φ30×20 SKXチーズ (V×P)	1.0	個			W0006
塩ビ管継手 φ3 SKX-ソケット	1.0	個			W0007
塩ビ管継手 φ30 MCユニオン	1.0	個			W0008
塩ビ管継手 φ20 (HI) ソケット	2.0	個			W0009
塩ビ管継手 φ20 (HI) エルボ	4.0	個			W0010
塩ビ管継手 φ20 (HI) シモクGNP	1.0	個			W0011
GVユニオン φ20	1.0	個			W0012

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0045

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライニング鋼管 φ2 SGP	2.0	m			W0013
ライニング継手 φ20 PL-L	3.0	個			W0014
ライニング継手 φ20 PL-S	1.0	個			W0015
市型止水栓 φ20×300H	1.0	個			W0016
道路用止水栓筐 φ100×800H	1.0	個			W0017
メーター用フレキ φ20 500L	1.0	個			W0018
伸縮ポール止水栓（丙型） φ20×13	1.0	個			W0019
配管支持金物 φ20	2.0	個			W0020
量水器筐 MB20	1.0	個			W0021
埋設明示シート W150	12.0	m			W0022
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷設工 V9100	1.0	式			施工 第0 -0036号表 特単単価適用日：08年07月01日
ホリフルン管据付工 φ2 PEP	12.0	m			W0023
塩ビ管据付工 φ30 HI-VP	0.5	m			W0024
塩ビ管据付工 φ20 HI-VP	2.0	m			W0025
塩ビ管据付工 φ50 VP	1.0	m			W0026
ポリ継手工 φ20 メーター用	3.0	ヶ所			W0027
ポリ継手工 φ30×20 SKX チーズ (V×P)	1.0	ヶ所			W0028
塩ビ管継手工 φ30 SKX ソケット	1.0	ヶ所			W0029
塩ビ管継手工 φ30 MCユニット	1.0	ヶ所			W0030
塩ビ管継手工 φ20 (HI) ソケット	2.0	ヶ所			W0031
塩ビ管継手工 φ20 (HI) エルボ	4.0	ヶ所			W0032
塩ビ管継手工 φ20 (HI) シモクGNP	1.0	ヶ所			W0033
ライニング鋼管据付工 φ20 SGP	2.0	m			W0034

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0047

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管切断工 φ20 SGP	4.0	ヶ所			W0035
鋼管ねじ切り工 φ20 SGP	8.0	ヶ所			W0036
ライニング継手工 φ20 SGP	4.0	ヶ所			W0037
市型止水栓取付工 φ20×300H	1.0	個			W0038
メーター廻り配管工	1.0	ヶ所			W0039
配管支持金具取付工 φ20	2.0	ヶ所			W0040
埋設明示シート布設工 W150	12.0	m			W0041
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0048

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械掘削工（小型バックホウ） SG001 クローラ型 山0.08m3（平0.06m3）	100	m3			施工 第0-0037号表
土木一般世話役 [0.753]	2.800	人			R0010
普通作業員 [0.842]	7.800	人			R0030
小型バックホウ運転 機-23 クローラ型 山0.08m3（平0.06m3）	2.632	日			SK502 100/38 施工 第0-0038号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 クローラ型 山0.08m3（平0.06m3） B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A-1-5					

施 工 内 訳 表

頁0-0049

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0050

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0051

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 SK506 機-22 オンロード・ディーゼル2 t 積級	1	日			施工 第0 -0040号表
運転手 (一般) [0.813]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	21.000	L			T0250
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	1.290	供用日			MA301
ダンプトラックタイヤ損耗 2 t 路面状況 良好 【損料表】	1.290	供用日			K1003
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 オンロード・ディーゼル2 t 積級 B=1 補正なし C=1 タイヤの損耗状態 良好 D=1 運転労務数量 E=21 燃料消費量					
F=1.29 機械損料数量					

施工パッケージ内訳表

頁0-0052

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（車道・路肩部） SPD005 全仕上り厚150mm 標準単価： 1,289.3 機械構成比： 5.72% 労務構成比： 18.33% 材料構成比： 75.95% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0041号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		3.95%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		0.49%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.49%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		8.06%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]		2.95%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		2.63%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		2.16%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材（骨材）クラッシャラン RC-40		74.21%	TPT8321 クラッシャラン C-40	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		1.50%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

20260000990

南 相 馬 市

金 抜 き

施工パッケージ内訳表

頁0-0053

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0054

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 無筋・鉄筋構造物 標準単価： 36.531 機械構成比： 3.50% 労務構成比： 34.96% 材料構成比： 61.54% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0-0042号表 1 m3	
K9205 バックホウ [クローラ型・クレーン機能付] 2.9 t 吊 山積 0.8 m3 (平積 0.6 m3)		3.31%	TPK9205 バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料	
R0020 特殊作業員 [0.780]		10.07%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.842]		9.38%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		7.04%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		6.40%	TPR0120 運転手 (特殊)	
T8600 生コンクリート ② 18-8-40-60%		59.80%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C 55%	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.65%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 無筋・鉄筋構造物 B=3 バックホウ (クレーン機能付) 打設 E=2 一般養生 K=2 高炉 L=13 18-8-40-60%				
M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 II-4-①-4				

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0055

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 1.4m以上3.0m以下 標準単価： 1,912.7 機械構成比： 1.62% 労務構成比： 14.97%	平均仕上り厚50mm		施工 第0-0043号表 1 材料構成比： 83.41% 市場単価構成比： 0.00%	m2
KQ683 アスファルトフィニッシャ〔ホイール〕賃料		1.04%	TPKQ683 アスファルトフィニッシャ〔ホイール〕賃料	
K2610 振動ローラ（舗装用・搭乗式コンパクト型） 3-4t		0.21%	TPK2610 振動ローラ〔搭乗式・コンバインド型〕賃料	
KQ605 タイヤローラ賃料		0.19%	TPKQ605 タイヤローラ賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		5.11%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		3.49%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		3.41%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		1.24%	TPR0010 土木一般世話役	
T8415 再生材アスファルト合材 密粒度（20） 最大粒径20mm		76.32%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度（20）	
T0211 アスファルト乳剤 PK-3プライム用、PK-4タック用		6.78%	TPT0211 アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローラー（パトロール給油）		0.28%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0056

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0057

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 700.44	15cm以下	58.43%	施工 第0-0044号表 1 m 0.00%	
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.24%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.96%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		10.88%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.842]		8.92%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		22.39%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.81%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 IV-3-③-1				

20260000990

南 相 馬 市

金 抜 き

施工パッケージ内訳表

頁0-0058

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 SPD311 7スファルト舗装版 標準単価： 217.37 機械構成比： 12.85% 労務構成比： 81.24% 材料構成比： 5.91% 市場単価構成比： 0.00%	障害等なし		施工 第0 -0045号表 1	m2
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 KQ049		12.85%	バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 TPKQ049	
土木一般世話役 R0010 [0.753]		29.54%	土木一般世話役 TPR0010	
運転手 (特殊) R0120 [0.788]		27.52%	運転手 (特殊) TPR0120	
普通作業員 R0030 [0.842]		24.18%	普通作業員 TPR0030	
軽油 T0250 ミニローリー (パトロール給油)		5.91%	軽油 TPT0250 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 7スファルト舗装版 B=1 障害等なし C=1 騒音振動対策不要 D=1 15cm以下 F=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 IV-3-②-2				

施工パッケージ内訳表

頁0-0059

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 舗装版破碎 標準単価： 7,775	機械積込(小規模土工) 20.25%	労務構成比： 71.03%	施工 第0-0046号表 1 材料構成比： 8.72%	m3 0.00%
MA401 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		20.25%	TPMA401 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		71.03%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		8.72%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 舗装版破碎 B=4 機械積込(小規模土工) C=1 DID区間なし D=28 12.0km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-25-1				

施工パッケージ内訳表

頁0-0060

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
不陸整正 SPD001 補足材料あり 標準単価： 187.49 機械構成比： 20.08% 労務構成比： 66.90% 材料構成比： 13.02% 市場単価構成比： 0.00%	6mm以上11mm未満		施工 第0 -0047号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		16.08%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)		2.01%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		1.99%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手(特殊) [0.788]		32.88%	TPR0120 運転手(特殊)	
R0030 普通作業員 [0.842]		13.54%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		10.56%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		9.92%	TPR0010 土木一般世話役	
T8344 粒度調整碎石 M-40 40～0mm		6.91%	TPT8454 再生クラッシャラン RC-40	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		6.11%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0061

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0062

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,891.1 機械構成比： 0.43% 労務構成比： 44.34% 材料構成比： 55.23% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚50mm		施工 第0-0048号表 1	m2
MC246 振動ローラ〔舗装用・ハンドガイド式〕		0.24%	TPMC246 振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	
MC274 振動コンパクタ〔前進型〕		0.13%	TPMC274 振動コンパクタ〔前進型〕	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.57%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.842]		14.05%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		4.28%	TPR0010 土木一般世話役	
T8415 再生材アスファルト合材 密粒度（20） 最大粒径20mm		50.52%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度（20）	
T0211 アスファルト乳剤 PK-3 プライム用、PK-4 タック用		4.48%	TPT0211 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.17%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		0.03%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

20260000990

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0063

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0064

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0065

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路標識板設置工(案内標識・新設)(材料含) S7022 カブセルﾌﾟﾘｽﾑ・ｶﾌﾞｾﾙﾚﾝｽﾞ 2m2未満 時間的制約を受けない	1	式			施工 第0 -0050号表
道路標識設置工 標識板設置 カﾌﾞｾﾙﾌﾟﾘｽﾑ・ｶﾌﾞｾﾙﾚﾝｽﾞ 2m2未満 週休二日月単位 補正係数1	0.283	m2			TAA61
道路標識設置工 加算額 標識板の裏面塗装	0.000	m2			TA696
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	式			
A=1 カﾌﾞｾﾙﾌﾟﾘｽﾑ・ｶﾌﾞｾﾙﾚﾝｽﾞ 2m2未満 B=2 時間的制約を受けない C=0.2826 標識板の面積 (m2) D=0 標識板の裏面塗装 (m2) E=2 夜間作業 無					
F=2 S 1 (施工規模 10m2未満) G=1 土木工事標準積算基準 VI-2-⑧-4					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
仮設材の運搬費 S0070 運搬質量 2.894 t 運搬距離 (片道) 11.9km	1	式			施工 第0 -0051号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=11.9 運搬距離 (片道距離 : km) B=1 製品長 12m以内 C=2.894 運搬質量 (t) D=0 運賃割増率 (F1 ~ F2) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 I-2-②-16					

施 工 内 訳 表

頁0-0066

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等の積込み、取卸し費 \$0072 積込み取卸し（往復分）	1	t			施工 第0 -0052号表
仮設材の積込み、取卸し費	1.000	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=4 積込み取卸し（往復分） B=1 土木工事標準積算基準 I-2-②-17					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
仮設材の運搬費 \$0070 運搬質量 32.1 t 運搬距離（片道）11.9km	1	式			施工 第0 -0053号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=11.9 運搬距離（片道距離：km） B=1 製品長 12m以内 C=32.1 運搬質量（t） D=0 運賃割増率（F1～F2） E=					
F=1 土木工事標準積算基準 I-2-②-16					

頁0-0067

金抜き

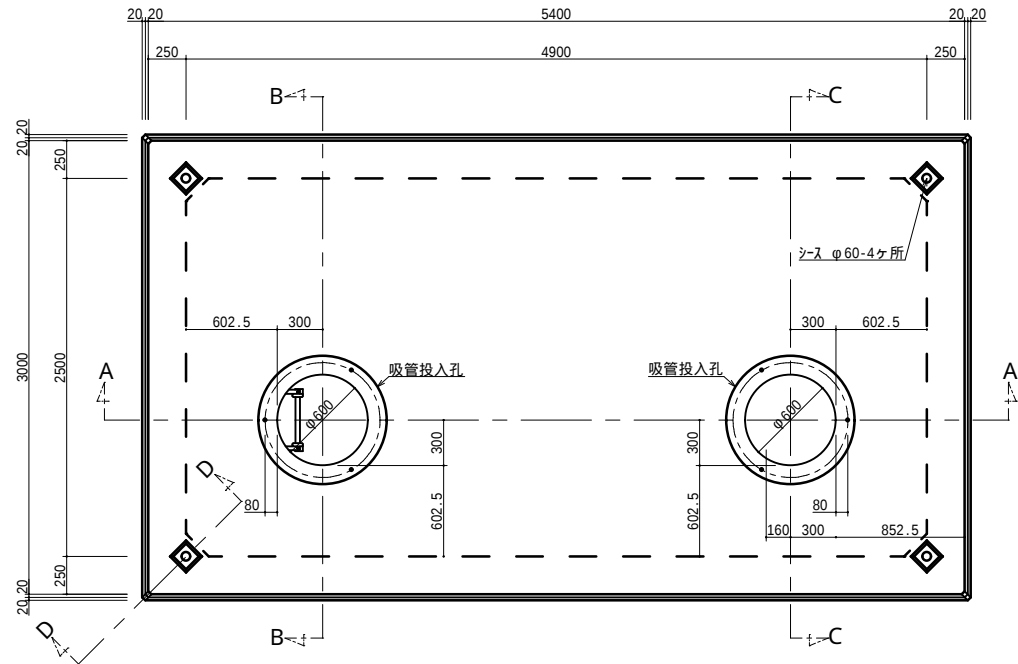
特殊基礎単価一覧表

頁0-0072

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単位	単価	管理費区分
W0001	頂版 (W-S) 5400×3000×250	枚	755,300	共通仮設費対象外
W0002	側壁1号 5400×3000×1150	個	885,600	共通仮設費対象外
W0003	側壁2号 5400×3000×1150	個	885,600	共通仮設費対象外
W0004	側壁3号 5400×3000×1150	個	893,000	共通仮設費対象外
W0005	側壁4号 5400×3080×1100	個	933,000	共通仮設費対象外
W0006	底版 4860×2460×250	個	529,000	共通仮設費対象外
W0007	集水ピット φ600×H=100	個	48,000	共通仮設費対象外
W0008	吸管投入孔 φ600×H=350	個	20,300	共通仮設費対象外
W0009	FRP梯子 H=4150	式	155,600	共通仮設費対象外
W0010	鉄蓋及び口環 転落防止型 φ600用	組	164,000	共通仮設費対象外
W2000	量水器加入金	式	66,000	全間接費対象額
W3000	私有管管理負担金	m	880	全間接費対象額
W1000	水圧試験費	式	5,000	全間接費対象額

耐震性防火貯水槽設置工事（鹿島区山下地区）

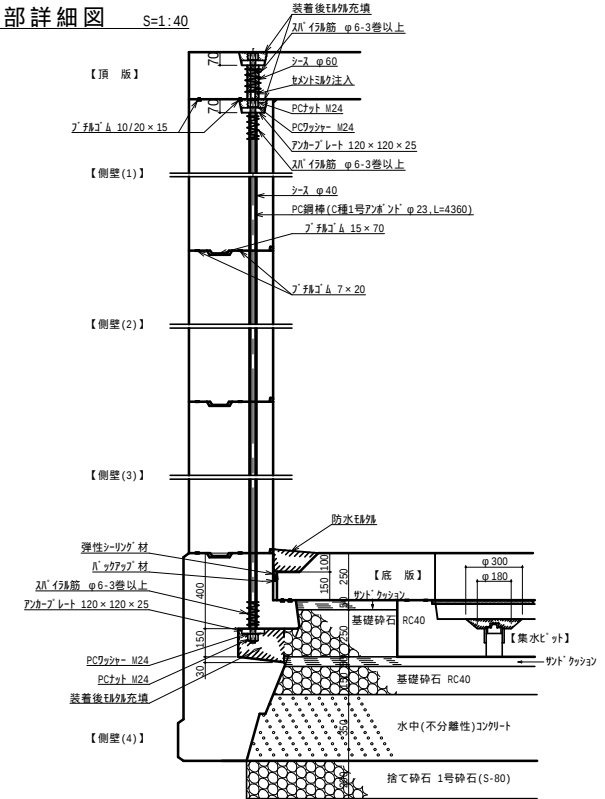
平面図 S=1:50



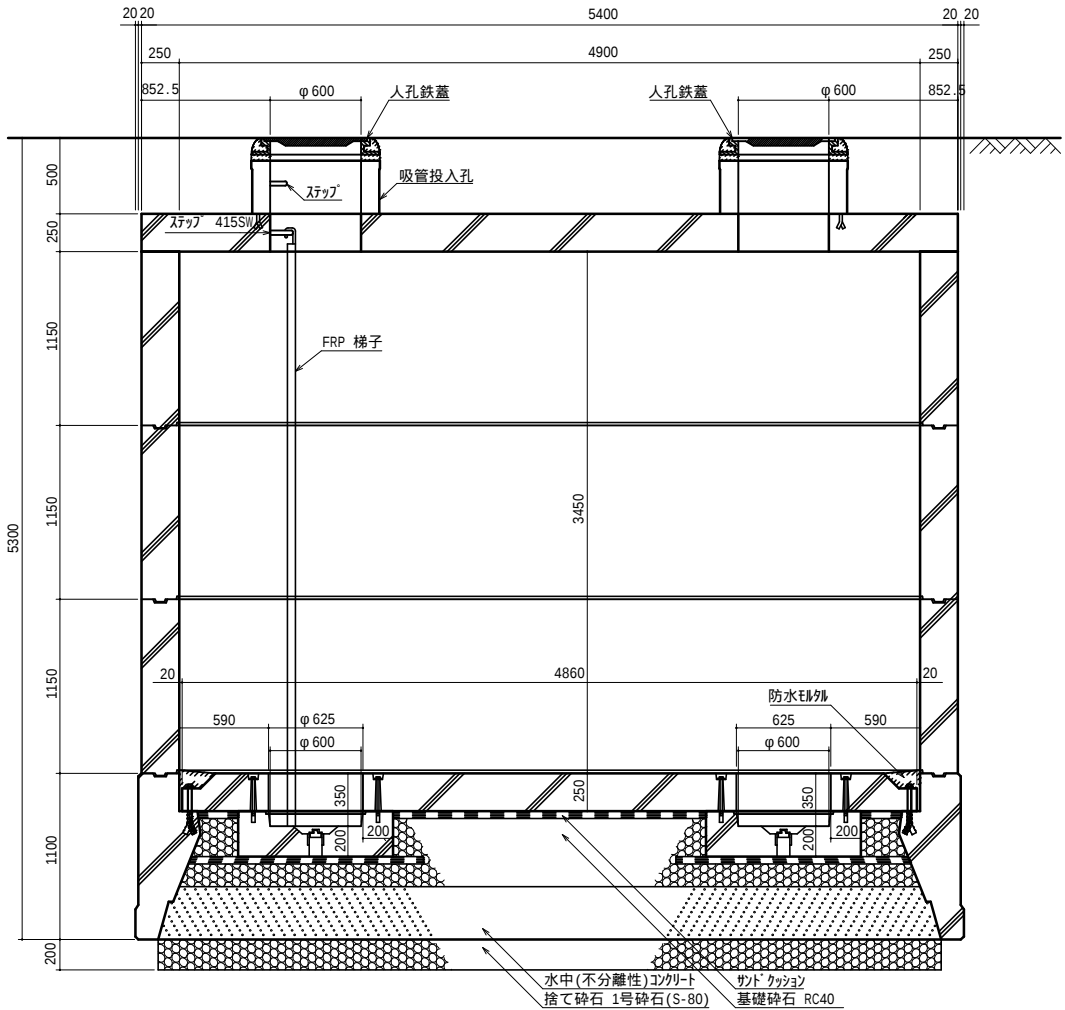
二次製品耐震性貯水槽 明細書

容量	4.0m ³		
設置場所	・ 型		
土被り厚	0.500m		
形状	縦置ボックスカルバート型		
地下水位	高水位仕様		
材料	算式	数量	備考
頂版	5.40m×3.00m×0.25m（2穴）	1枚	
側壁（1）	5.40m×3.00m×1.15m	1個	
側壁（2）	5.40m×3.00m×1.15m	1個	
側壁（3）	5.40m×3.00m×1.15m	1個	
側壁（4）	5.48m×3.08m×1.10m	1個	
底板	4.86m×2.46m×0.25m（2穴）	1枚	
集水ビット	φ600×0.10m	2個	
吸管投入孔	φ600×0.35m	2個	
FRP梯子	400W H=4150	1組	
P C 鋼棒	C種1号アンボンドφ23,L=4360	4本	
定着具	アンカープレート、ナット、ワッシャー	12組	
人孔鉄蓋	φ600	2個	

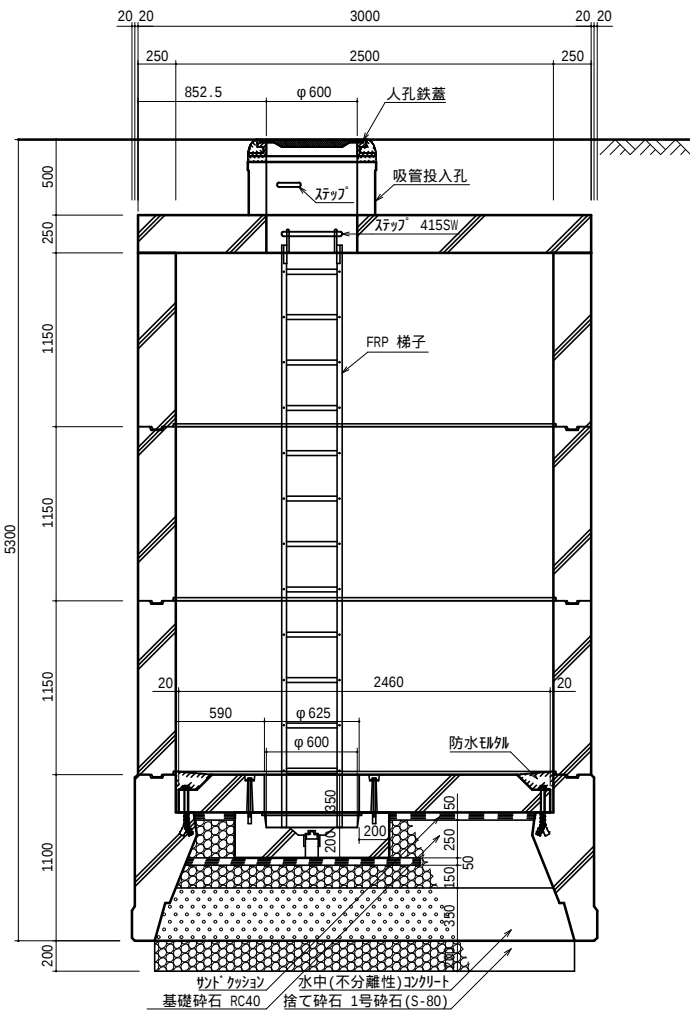
D断面接合部詳細図 S=1:40



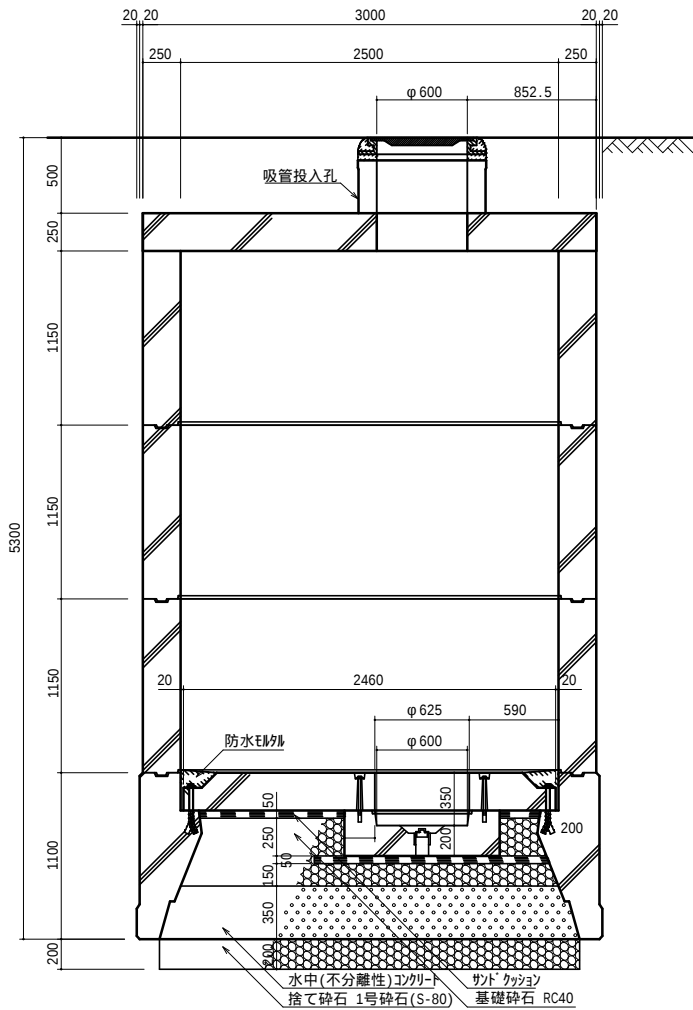
A - A 断面図 S=1:50



B - B 断面図 S=1:50

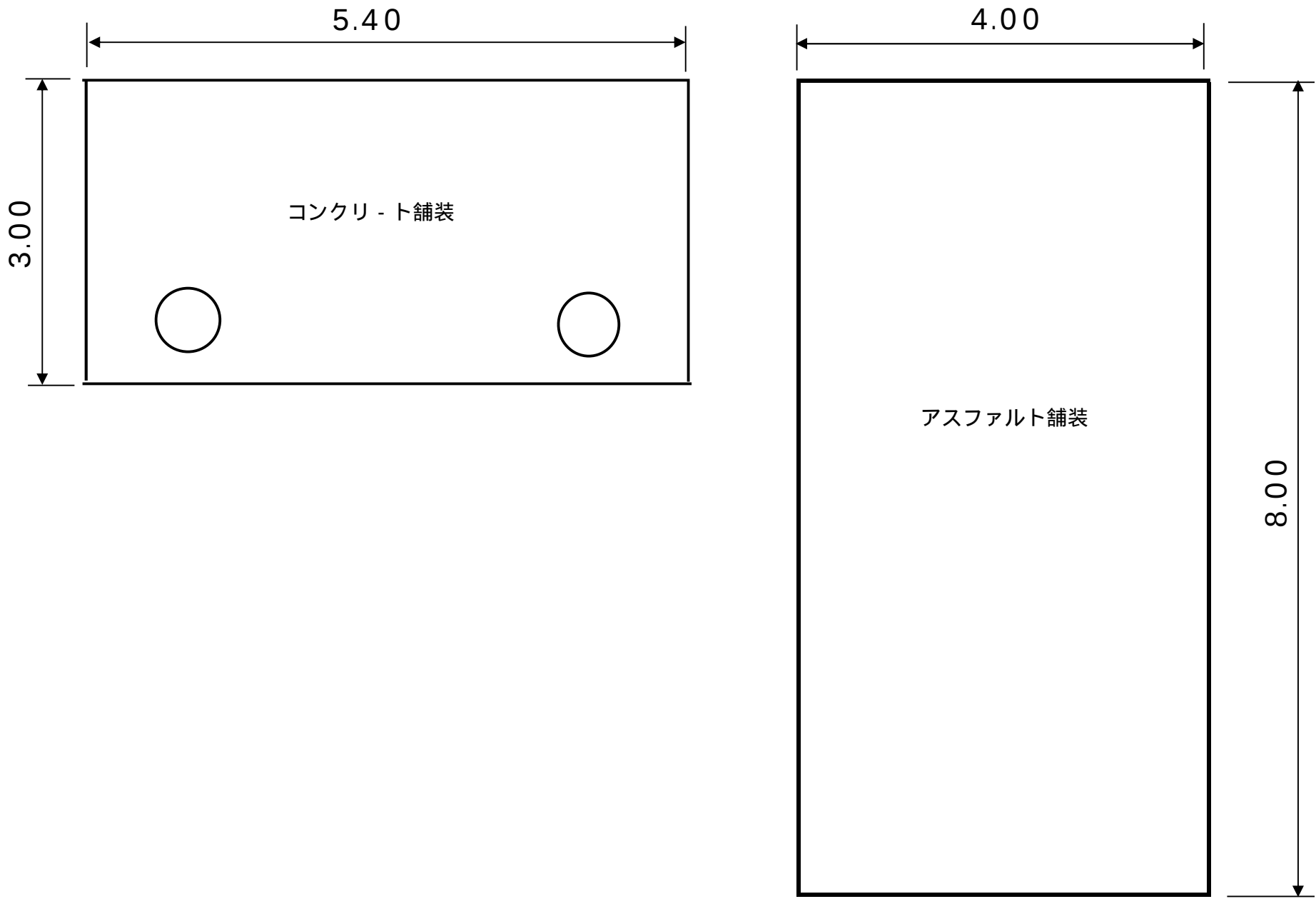


C - C 断面図 S=1:50



耐震性防火貯水槽設置工事（鹿島区山下地区）

舗装平面図



コンクリート舗装数量

$A = 5.40 \times 3.00 = 16.2$
 $- 1/4 \times \pi \times 0.8^2 \times 2 = -1.0$
 $A = 16.2 - 1.0 = 15.2\text{m}^2$

下層路盤（RC-40 t=150）
 $A = 15.2\text{m}^2$

コンクリート（18-8-40BB 60% t=150）
 $V = 15.2 \times 0.15 = 2.3\text{m}^3$

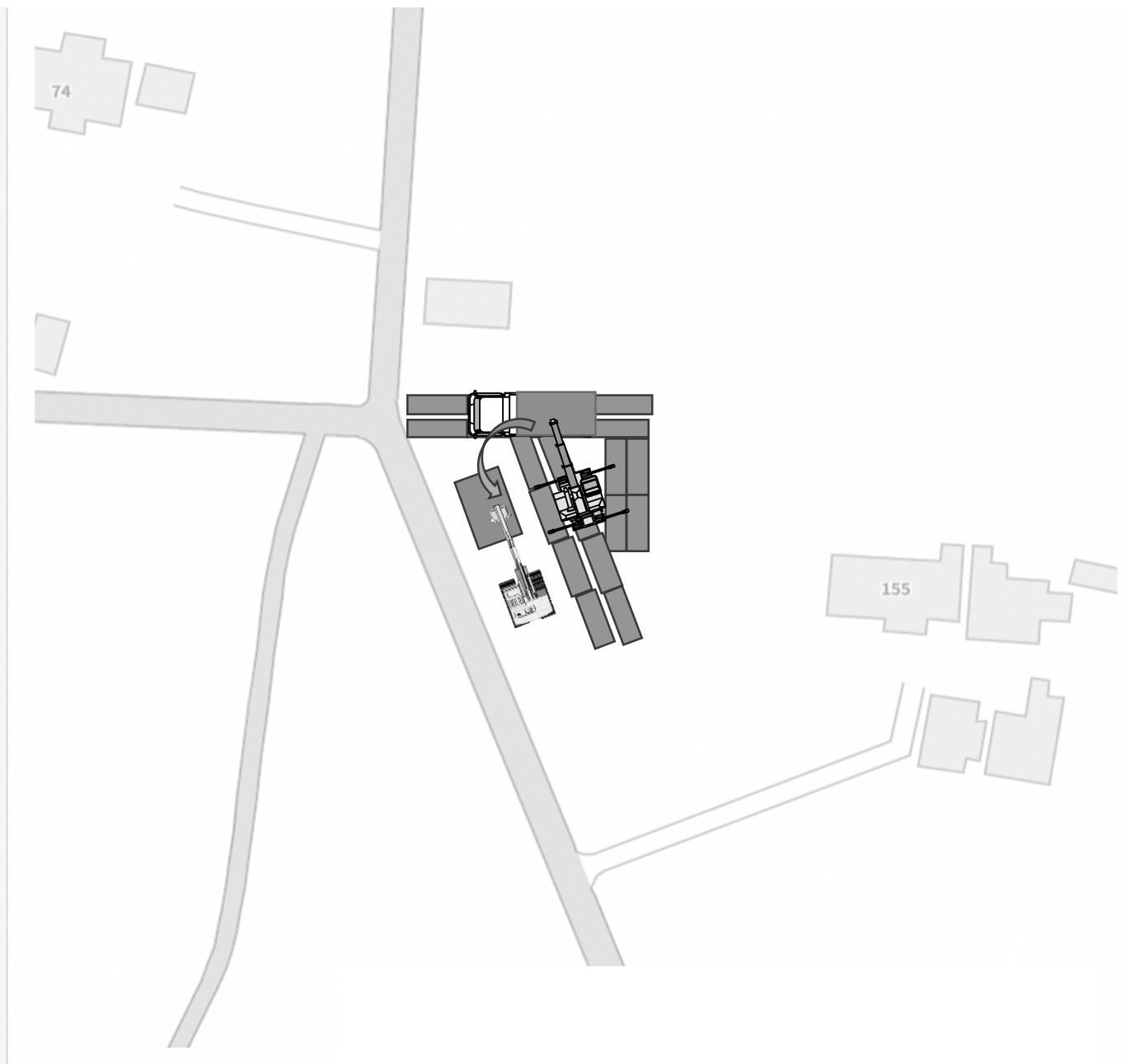
アスファルト舗装数量
 $A = 4.00 \times 8.00 = 32.0\text{m}^2$

下層路盤（RC-40 t=150）
 $A = 32.0\text{m}^2$

表層（再生密粒度As(20) t=50）
 $A = 32.0\text{m}^2$

耐震性防火貯水槽設置工事(鹿島区山下地区)

仮設計画平面図



敷鉄板
22 × 1524 × 6069
N=20枚

特記仕様書

工事番号： 2026000673

路線河川名： 鹿島区

工事名： 耐震性防火貯水槽設置工事（鹿島区山下地区）

工事施工箇所： 南相馬市鹿島区山下字北山下地内

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和7年10月1日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、□としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第20章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・~~第21章 労働者確保に関する積算方法の試行工事~~
- ・~~第22章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）~~
- ・第23章 週休2日確保モデル工事等
- ・~~第24章 建設キャリアアップシステム活用工事~~
- ・~~第25章 ふくしまME資格取得者の現場活用~~
- ・~~第26章 法定外の労災保険の付保~~
- ・第27章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第28章 再生資源利用計画書
- ・第29章 再生資源利用促進計画書
- ・第30章 その他

3 第2章～第3章、第9章～第25章、第29章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

※ 福島県ホームページ＞組織でさがす＞技術管理課＞特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
防火貯水槽構造図	1/3	1	
舗装平面図	2/3	1	
仮設計画平面図	3/3	1	
計	全3葉		

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
計	全 葉		

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

南相馬市土木課

☑第1章 一般共通事項

- 1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|--------------|----|---|----|
| 1) 国有・民有保安林 | □有 | ・ | □無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | □有 | ・ | □無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | □有 | ・ | □無 |
| 4) 鉄道近接区域 | □有 | ・ | □無 |
| 5) その他 () | □有 | ・ | □無 |

- 2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- 3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 □有 ・ □無

有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

- ~~□4 河道掘削に伴う工事測量~~

~~—— 河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。——~~

~~□第2章 フレックス工事~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~—— 本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。——~~

~~□第3章 準備期間確保工事~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~—— 本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（〇〇日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。——~~

☑第4章 総 則

☑1 施工計画書

工程管理は バーチャート により行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

- 2 工事用地等の使用

- 1) _____ 作業に係るヤードとして、別添「_____ 図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

- 2) 使用にあたっての条件、制限等

□3 関連工事

- 1) 工 事 名 : _____
- 2) 路河川名 : _____ 線・筋 _____
- 3) 施工箇所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内 _____
- 4) 注意・指示事項 : _____

□4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : _____ 数量 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

□5 工事現場発生品

- 1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

- 2) 従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

☑6 建設副産物処理

- 1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

- ☑2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト殻	(再資源化)・中間・最終)施設へ搬入	加藤道路
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	

※ 積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の

回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
①竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	☐ 有 ・ ☐ 無	・対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
②不可視部の工事 (工種)で2)に 示すもの	☐ 有 ・ ☐ 無	・不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2)に示す工事 (工種)
③工期が1年以上 となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・協議による。	
④その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3)に示す工事 (工種)

注1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

2) ②不可視部の工事(工種)とは次のものとする。

- ☐杭基礎、☐場所打杭、☐深礎杭、☐ケーソン基礎、☐地盤改良
☐捨石均し、☐被覆・根固め均し、☐井筒潜函基礎、☐山腹基礎床掘
☐上層路盤(1,000m²以上の工事)
☐現場打ちのボックスカルバート、擁壁(鉄筋 Co)
☐橋台・橋脚、☐現場制作PC橋、☐床版
☐水門・樋門
☐ブロック製作、ケーソン製作
☐覆工 Co の前段工事
☐その他【

】

3) ④その他、発注者が必要とする工種(工事)とは次のものとする。

- ☐桁の仮組立
☐水門扉、☐可動堰、☐スノーシェッド、☐ポンプ施設、☐除塵機、☐栈橋
☐堰堤(Co、盛土)
☐堰(工場制作)、ラバーダム
☐地盤変動等の影響が予想される掘削
☐仮橋、路面覆工(一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
☐仮堤防(本堤防と同等の機能を求める仮堤防)
☐その他【

】

☑8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考
----------	--------	----------	----

貯水後埋戻し目漏水確認	防火貯水槽設置	貯水後	

□ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

☑ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢 28 日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要
水中不分離コンクリート	36-12-25(20)-55% 混和剤入り	

□ 11 用地取得及び支障物件

□ 1) 工事区域内の用地確保 (□ 済 ・ □ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 _____ 年 _____ 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

□ 2) 工事支障物件： □ 有 ・ □ 無

【支障物件移転予定時期】 _____ 年 _____ 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

☑ 12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、翌月 5 日 に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☒ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は 本工事 に 1 人 配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☒ 14 作業工程

1) 全ての作業は、昼間とし、時間帯は8時30分～17時までとする。

2) 作業工程における注意事項:

3) 現道の使用規制について

現道は、_____により本工事を施工するものとす
る。

4) 工事を施工しない日 ☐ 有 ・ ☐ 無 年 月 日

工事を施工しない時間帯 ☐ 有 ・ ☐ 無 : ~ :

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ _____ に適用する。

□ 15 仮設

☐ 1) 指定仮設の有無 ☐ 有 ☐ 無

□ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

□3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること

仮設物名：_____ 数量等：_____

存置期間：

☐ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計 上 費 目	実施する 項 目 数	実 施 す る 内 容 (率 計 上 分)
現場環境改善	()	① 昇降設備の充実 ② 環境対策の充実

(仮設備関係)		③ ICT 設備の充実 ④ 作業負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	① 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舎の充実 ③ 現場休憩所の充実 (交通誘導警備員待機室を含む) ④ 衛生設備・厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	① 工事標識・照明等安全施設の充実 ② 盗難防止対策 ③ 結構関連施設の充実 ④ 野生生物・害虫対策等
地域連携	()	① 広報活動等 (完成予想図、パンフレット、工法説明、PR 看板等) ② 見学会・イベント等の開催 (見学施設等設置・管理運営等含む) ③ 社会貢献・地域対策経費等 (地域行事等の経費含む) ④ 現場景観向上 (美装化・デザイン看板等)

☒ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 1 基設置すること。

☐ 18 六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)

本工事は、「六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験) を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(六価クロム溶出試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

(タンクリーチング試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

☐ 第5章 材 料

☐ 1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

☐ 1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

※ 備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

□3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

☑第6章 一般施工

☑1 建設発生土の処理

□1) 他工事への流用: □ 有 ・ □ 無

工事名: _____ 路河川名: _____

施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬距離 _____ km

☑2) 搬出先

受入場所: _____ 南相馬市鹿島区南右田字大古内 202 地内 _____

運搬距離 9.6 km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□2 他工事からの流用土

□1) 他工事からの流用： ☐ 有 ・ ☐ 無

① 工事名：_____ 路河川名：_____

② 指定・施工場所：_____市・郡_____町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

③ 運搬の有無： ☐ 有 ・ ☐ 無 （_____km）

④ 品 質：_____

品質の確認試験（_____）については、_____で実施する。

☑3 購入土等

☑1) 購入土等の有無： ☒ 有 ・ ☐ 無☑2) 購入土等の種類：☑購入土 ・ ☐ 岩ズリ ・ ☐ その他（_____）

□3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

□4) 購入土等が1工事あたり1,000m³以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□4 建設汚泥（泥土）の処理

□1) 汚泥（泥土）は、_____による改良を行い、_____として再利用する。

□2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における_____とする。

□3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。

なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。

□4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

☑5 レディーミクストコンクリートの養生

□1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の□印のとおり。

コンクリート種別	☐ 普通ポルトランドセメント
	☒ 高炉セメントB種 1)

	☐ 混合セメントB種	☐ フライアッシュセメントB種
		☐ シリカセメントB種
	☐ 早強ポルトランドセメント	
	☐ 暑中コンクリート(日平均気温が25℃を超える場合)	
気象条件	☐ 寒中コンクリート(日平均気温が4℃以下になる場合)	
	構造物の露出状態	☐ 連続して、あるいはしばしば 水で飽和される部分 2)
		☐ 普通の露出状態

- 1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

- 2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

□6 塗装工

- 1) 塗装回数は下塗____回、中塗____回、上塗____回とする。

- 2) 塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細 別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
工場塗装	下塗り1層		
	下塗り2層		
現場塗装	中塗り1層		
	中塗り2層		
	上塗り1層		
	上塗り2層		

- 3) 素地調整(ケレン)は____とする。

- 4) 詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

□7 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

- 1) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。

- 2) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

□第7章 その他施工

□1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

□4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄
第 1 種、第 2 種	3,000 以上	3,000	
第 3 種第 1 級及び第 2 級	3,000 未満	1,500	
第 4 種第 1 級			
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

□5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が 50 万円以上となる工事の場合に記載

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。

また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

□6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対

象とする。

□第8章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針の㍂印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□1 工事を行う基本方針（指針P13）

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ☐① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ☐② 右利き、左利きに対応した施設
- ☐③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ☐④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ☐⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ☐⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ☐⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ☐⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ☐⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ☐⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ☐⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ☐⑫ プライバシーに配慮された施設
- ☐⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ☐⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ☐① 使い方を直感的に理解できる施設
- ☐② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ☐③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ☐① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ☐② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ☐③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ☐④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ☐⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ☐⑥ 危険な部分が防護されている施設
- ☐⑦ 四季を通じて安全な施設
- ☐⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針4 さりげなく 美しい 施設

- ☐① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設

☐③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設

☐④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

☐① できる限り同じ手段で利用できる施設

☐② 利用者に応じた使い方が選べる施設

☐③ 利用者のペースに合わせることができる施設

☐④ 情報がその重要さに応じて提供される施設

☐⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

☐2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

☐第9章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

☐1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。

以下の資料を作成要領に基づき作成すること。

・道路構造物の記録保存資料

☐2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。

以下の資料、作成要領に基づき作成すること。

・道路舗装構成等の記録保存資料

☐第10章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

☐第11章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：〇〇工区（施工箇所〇〇、〇〇）、△△工区（施工箇所〇〇）、

□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）

（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所〇〇）とする。）

☐第12章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

☐第13章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事の発注方式は（ ☐受注者希望型 ・ ☐発注者指定型 ）である。

□2 ICT活用工事（土工）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工）」の対象工事である。

□3 ICT活用工事（舗装工）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（舗装工）」の対象工事である。

□4 ICT活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（浚渫工（港湾））」の対象工事である。

□5 ICT活用工事（土工 1,000m³未満）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（土工 1,000m³未満）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工 1,000m³未満）」の対象工事である。

□6 ICT活用工事（小規模土工）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（小規模土工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（小規模土工）」の対象工事である。

□第14章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

□第15章 「総合評価方式（標準型・簡易型）における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について

——（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）——

□第16章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

i) 作業不能日数：●日間

ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方●●(福島)地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去 5 年分(令和●年～●年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和 63 年法律第 91 号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3 日)を除く。)において、8 時から 17 時の間に WBGT 値が 31 以上となった時間を算定し、日数に換算したもの 5 年分を平均したもの。

iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●(福島)地点における WBGT 値が 31 以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

3 基準とする気象庁の気象観測所は施工現場によって次のとおりとする。

- i) 施工現場が小高区の場合 「浪江」
- ii) 施工現場が鹿島区及び原町区の場合 「相馬」

~~第 17 章 三者協議~~

~~本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。~~

~~第 18 章 国土強靱化事業の取組に関する広報~~

~~本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。~~

~~記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。~~

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事
令和〇年〇月〇日まで 時間帯〇:〇〇～〇:〇〇
河川(交付)工事(開削)
発注者 福島県〇〇建設事務所 〇〇課
施工者 〇〇〇〇建設株式会社
電話 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

第19章 電子納品

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~電子納品保管管理システムへのオンライン納品は、電子媒体納品書を監督員に提出し、成果品が登録済みであることの確認を受けることで完了とする。~~

第20章 情報共有システム、遠隔臨場

（本章はすべての工事に該当する）

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報共有システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電子媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、「南相馬市建設工事情報共有システム実施要領」によること。

第2-1章 ~~労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~□1 労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____％~~

~~□2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____％~~

第2-2章 ~~快適トイレの設置~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページ『快適トイレの設置について』『土木部発注工事における快適トイレの設置に関する運用』を参照のこと)~~

~~本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。当初設計においては、~~

~~□ 快適トイレ □ 快適トイレ男女一体型（ハウス型）~~

~~設置基数：__○__基 設置期間：__○__月__○__月として計上している。~~

~~現場に快適トイレを設置しない場合は、発注者と協議すること。~~

~~現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、上記設置基数以上の快適トイレを設置する場合は、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。~~

~~また、実際に現場へ快適トイレを設置した期間が確認できる資料を監督員に提示すること。~~

第2-3章 週休2日確保モデル工事等

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」「南相馬市発注工事における「週休2日確保モデル工事」試行要領」に定める工事のうち、☒としている箇所の対象工事である。

☒「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☒月単位 ☐完全週休2日

☐「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」 ☐月単位 ☐完全週休2日

なお、「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「完全週休2日」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第24章 建設キャリアアップシステム活用工事

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

- ~~1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。~~
- ~~2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~
- ~~（※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照）~~

第25章 ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

第26章 法定外の労災保険の付保

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第27章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

（1）大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

（2）震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、

FAX又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

第28章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第29章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書(※技術管理課ホームページ参照)の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。(※試行要領は技術管理課ホームページ参照)

4 受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

☑第30章 その他

(1) 工事書類の簡素化について

1. 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。

2. これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

(2) 本工事の耐震性防火貯水槽設置位置については、工事受注後、現地にて位置を確定するため監督員と協議すること。

(3) 消防車待機場所の仕様は現在アスファルト舗装としているが、現地の土質状況によりこれに得難い場合には監督員と協議すること。

(別紙様式)

〇〇〇建設事務所 〇〇〇部 〇〇課 〇〇〇 行 (FAX:024-〇〇〇-〇〇〇〇)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	工第〇〇－４１３００－〇〇〇〇号 〇〇〇〇〇〇〇〇工事	
場 所	市 地内	
請負者	〇〇〇〇〇(株)	
現場代理人	〇〇〇〇	
点検日時 (24時間表示)	開 始	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
	終 了	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
点検項目	異常の有無	
○現場内の状況		
・法面の崩壊	無し	
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)	
・法面からの湧水	無し	
・路面の陥没	無し	
・仮設の設置状況	無し	
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し	
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し	
・河川、水路の水位の上昇状況	無し	
・土石流の発生	無し	
・地すべりの発生	無し	
○現場周辺の状況		
・法面の状況	無し	
・路面の状況	無し	
・流末排水の状況	無し	
・雨量計の読み取り	000 mm	
・土石流危険渓流の状況	無し	
・砂防指定地の状況	無し	
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し	
・地すべり危険区域の状況	無し	
・その他異常の有無	無し	
処置内容		
・No. 0～No. 10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。		

数 量 総 括 表

工事名：耐震性防火貯水槽設置工事（鹿島区山下地区）
 工種体系名：公園緑地整備・改修

路線河川名：
 施工箇所：南相馬市鹿島区山下字北山下地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠	
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5					
本工事費										
	施設整備									
		防火水槽設備工								
			貯水施設（二次製品）							
				貯水施設（材料費）			箇所	1.0		
					頂 版（W-S）	5400*3000*250	枚	1.0		
					側壁 1 号	5400*3000*1150	個	1.0		
					側壁 2 号	5400*3000*1150	個	1.0		
					側壁 3 号	5400*3000*1150	個	1.0		
					側壁 4 号	5400*3080*1100	個	1.0		
					底 版（W）	4860*2460*250	枚	1.0		
					集水ビット	φ 600*H=100	個	2.0		
					吸管投入孔（S付）	φ 600*H=350	個	2.0		
					FRP梯子	H=4150	式	1.0		
					鉄蓋及び口環（転落防止型）	φ 600用	組	2.0		
			組立工							
				組立工（本体）			式	1.0		
					組立工（本体）		式	1.0		
				組立工（吸管投入孔及び集水ビット）			箇所	4.0		
					組立工（吸管投入孔及び集水ビット）		箇所	1.0		
				組立工（铸铁蓋）			箇所	2.0		
					組立工（铸铁蓋）		箇所	1.0		
			止水工・防水工							
				止水工・防水工			m	14.4	Sh=14.404m	
					シール工（頂部）	1成分型ポリウレタンシーラント	m	1.0		
					シール工（側壁）	1成分型ポリウレタンシーラント	m	1.0		

数 量 総 括 表

工事名：耐震性防火貯水槽設置工事（鹿島区山下地区）
 工種体系名：公園緑地整備・改修

路線河川名：
 施工箇所：南相馬市鹿島区山下字北山地下地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
					シール工（底部）	1成分型ポリウレタンシーラント	m	1.0	
					シール工（吸管投入孔）		m	1.0	
					シール工（集水ビット）		m	1.0	
					防水モルタル工	底版外周+ビット部	m3	0.3	VM=0.319m3
			基礎工						
				基礎工			式	1.0	
					基礎碎石	20.0cm～22.5cm RC-40	m2	19.2	VG=4.315m3/0.45*2
					捨て碎石工	17.5cm～22.5cm 割栗石(50～150mm)	m2	14.4	VT=5.18*2.78
					サンドクッション		m2	12.1	VS=0.604m3/0.05
					水中不分離コンクリート		m3	4.7	VC=4.717m3
			土工（潜函土工）						
				作業土工（床掘り）			式	1.0	
					床掘り	土砂・機械掘削[障害無]	m3	31.5	
					床掘り	土砂・機械掘削[障害有]	m3	41.9	
					床掘り	土砂・人力,機械掘削[施工幅1m未満]	m3	25.2	
				埋戻し			式	1.0	
					埋戻し	発生土	m3	15.0	最大埋戻幅4m以上
					埋戻し	発生土,人力	m3	2.1	
				土砂等運搬			式	1.0	
					土砂等運搬	L=8.9km	m3	79.9	(31.5+41.9+25.2)-(14.7+2.1)/0.9
					整地	残土処分地	m3	79.9	
			仮設工						
				仮設鋼材設置撤去工			式	1.0	
					H形鋼設置・撤去	H400*400*7000-2本 4日	t 又 m2	11.6	
					敷鉄板設置・撤去	22*1524*6069 1～90日	枚・日	20.0	
				ポンプ締切排水工			式	1.0	

数量總括表

工事名：耐震性防火貯水槽設置工事（鹿島区山下地区）
工種体系名：公園緑地整備・改修

路線河川名：
施工箇所：南相馬市鹿島区山下字北山下地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単 位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
					ポンプ運転	排水量0～120	日	4.0	
					発動発電機運転	ディゼ 25KVA	日	4.0	
					ポンプ据付撤去工		箇所	1.0	
			付帯工						
			給水管設備工						
				資材費					
				給水管資材費		式	1.0		
				敷設費					
				敷設工		式	1.0		
				作業土工					
				掘削工		m3	9.0		
				土砂等運搬	L=8.9km	m3	9.0		
				整地	残土処分地	m3	9.0		
				埋戻	購入土（山砂）	m3	2.0		
					購入土（碎石）	m3	7.0		
				コンクリート舗装工					
				下層路盤（車道・路肩部）	RC-40 t=150	m2	15.2		
				コンクリート	18-8-40BB-60%	m3	2.3		
				アスファルト舗装工					
				下層路盤（車道・路肩部）	RC-40 t=150	m2	32.0		
				表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下	再生密粒度As(20)t=50	m2	32.0		
				舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	9.0		
				舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2	12.3		
				殻運搬	アスファルト舗装版 小規模	m3	0.6		

数量総括表

工事名：耐震性防火貯水槽設置工事（鹿島区山下地区）
工種体系名：公園緑地整備・改修

路線河川名：
施工箇所：南相馬市鹿島区山下字北山下地内

[illegible]